



令和6年の修了式を迎えました

本校ホームページの「トピックス」にも掲載しましたように、先週19日(水)の朝の雪には本当に驚かされました。「暑さ寒さも彼岸まで」という言葉とは逆の天候に、暖かな春がさらに遠くなったような気がしていましたが、翌日から急に暖かくなり、この土日には20℃を越えるような暑さにもなりました。待ちに待った春らしさの中、本日、いよいよ本年度の修了式を迎えました。

振り返れば、本年度がスタートした4月当初が遠い昔のようです。リニューアルした新制服を着用して入学式の会場に入ってきた1年生の姿が今でも感動とともに鮮やかに思い出されます。その1年生もずいぶん大きくなり、制服のズボンの裾から足首が見えるようにもなりました。



<3/17 セサルさんの本年度最後の朝活動>

今や2年生は、3年生から部活動や生徒会を引き継いで各種大会や学校行事をリードするようになり、動きも顔つきもずいぶんとしっかりとしてきました。来年度には、養父中のこれまでの伝統やスタイルにさらに新たなカラーを付けてくれそうで、今からとても楽しみにしています。

今年度、生徒たちに機会あるごとに話してきたことが2つあります。

ひとつめは、「**自分の見方・とらえ方次第で、環境は変化する**」ということです。もちろん生徒たちにとって最善の(よりベターな)環境を用意し提供することは学校の役割です。しかしその一方で、自分の思い通りにならないことやうまくいかないことについて、いつも他人や環境のせいにはばかりしていたのでは、自身の成長にとってマイナスにしかならないでしょう。愚痴や不満ばかりでは何も変わりませんし、自分で自分の気持ちを卑屈にさせてしまいます。もったいないことです。

自分が「元気に、明るく、前向きに」どう仲間にかかわり、所属する集団に貢献していくか、その在り方によって環境はよりよくなっていくはずだと、話をしているところです。最近、生徒会や生徒個人から意見や要望を聴くことが増えてきました。このように、養父中を生徒とともによりよくしていけることをうれしく思います。よい雰囲気醸成されてきていることを実感しています。

ふたつめは、「**頑張ってもいけないのに、よい結果(望む結果)を得てしまうことを経験しない**」ということです。このことは、学校だより19号(1/9発行)でも説明していますのでご参照ください。

「頑張ったからこそ、よい結果(望む結果)が得られた」ことは素晴らしい体験であり、これが一番理想的な取り組み方であろうと思います。一方、「頑張らなかったから、よい結果(望む結果)が得られなかった」のは仕方のないことであり、それは受け入れるしかないでしょう。また、「頑張ったけど、よい結果(望む結果)が得られなかった」場合については、その経験から得られる教訓や学びは必ずあるはずであり、それは必ず次の成長(伸び)に活かされていくものですから、プラスととらえていいでしょう。一番問題なのは、「頑張ってもいけないのに、よい結果(望む結果)を得てしまう」ことです。それがなぜ問題なのか。そのことについて、入試前の3年生にも話をしたところです。

この2つに共通していえることは、「**自分次第で、自分も周りも、そして未来も変えられる**」ということです。中学生という多感な時期にある生徒たちにとっては、まだまだ保護者の皆様の支えと我々教職員のかか



<給食ラストの日。ケーキを手にと>

来年度もやっぱり、ABC + DE はすべてのベース

わりが必要であることは言うまでもありませんが、今後のよりよい生き方のために「自分次第で」という意識を少しずつ高めていくことは必要だと考えています。

来年度も、「養父中パワー」をしっかりとよりよく醸成しながら、「自分次第で」という意識を高め、学校教育目標である「しなやかな強さを持ち、協働的・創造的に活動できる生徒の育成」に尽力していきたいと思えます。

ちょこっとアルバム

*詳しくは学校ホームページをご覧ください。

■ 3月13日(木)、1年生が来年度の「トライやる・ウィーク」の取組に関連して、「職業調べ発表会」を行いました。



<上手な進行でした>



<理容師についての発表>



<クイズも入れて楽しく>



<感想も真剣に>

■ 3月14日(金)、またまた1年生が美術の授業の一環として特別授業「新聞バッグづくり」に挑戦しました。講師は、新聞バッグづくり インストラクターの長島敏行さんです。



<実演を映して説明>



<のり付け>



<何かと細かい手作業>



<出来映えはいかに>

■ 3月14日(木)。この日は、2年生も「高校調べ発表会」を行いました。来年度はいよいよ3年生！進路実現に向けた第1歩の学習会です。3月6日(木)には、受験当日本番どおりの日程で校内テストにも取り組みました。



<1対1での説明>



<〇〇〇さんによる模範説明>



<真剣かつ丁寧に>



<表情もすばらしい！>

令和6年度を振り返るたびに必ず思い出されることは、体育大会での「勝覇笑美戦(かっぱえびせん)」というスローガンと、文化祭での「華輝(かき)の種」というスローガンです。生徒会の日頃からの自由闊達な雰囲気が生み出した絶妙のアイデアであったと思います。どちらの行事においても、それぞれのスローガンのもと、全校生みんなで知恵と力を出し合って成功させていこうとする大らかで明るく、それでいて芯のあるうねるような勢いを感じました。まさに「養父中パワー」の体現であったように思います。

そんなパワーの片鱗を日常の様々な活動場面で目にするたびに、生徒たち一人一人に頼もしさと誇らしさを感じていました。とにかく「応援したくなる生徒」ばかりです。「応援しがいのある生徒たち」と言ってもいいでしょう。そんな生徒たちと学校生活をともに過ごし、様々な思いを分かち合いながら、さらにいい学校をつくろうと教育活動に取り組めたことがうれしく、大きな喜びを感じています。これも、保護者の皆様の本校の教育活動に対するご理解とご支援の賜と、深く感謝申し上げます。

また来年度も、生徒たちのよりよき学びと成長のために力を尽くす養父中学校でありたいと思っています。引き続きお力添えをいただきますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

明るく、元気に、前向きに、仲間とともに “To Be a Good School” 令和6年度 教職員一同

<最終号に寄せて>

1年間、その時その時の学校の様子や校長としての思いなどをできるだけこまめにお伝えしようと、学校ホームページとも連動させて編集・発行してきました。今回の25号が今年度の最終号となります。今年は2025年なので、最終号を25号にしたわけではありません(笑)。

昨年度は29号が最終であったことを思うと少し残念な思いもありますが、これにて、締めくくりとさせていただきます。今年度もご愛読いただき、ありがとうございました。



<修繕された東門>

Do something Do more Do better (まずやろう もっとやろう よりよくやろう)